

超音波検査

現在の医学分野では、「超音波」を利用した診断と治療の技術は目覚ましく発展を遂げています。特に、超音波診断装置の普及にともない、画像情報を活用した臨床検査が日常的に行われるようになりました。
世界的にも、超音波検査による画像情報の分析がますます重要視されています。

超音波検査

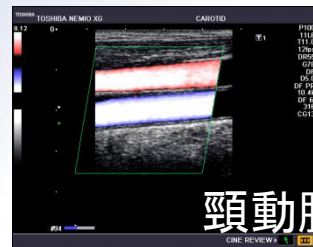
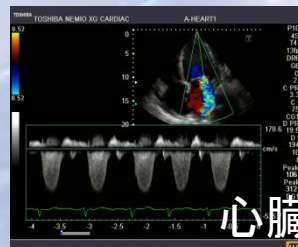
超音波という人間の耳には聞こえない音を発し臓器からの反射の様子を画像化します。超音波検査のことをエコーと呼ぶこともあります。超音波検査は放射線の代わりに音を使用するので放射線被ばくはありません。

手順としては、患者さまにベッドに寝ていただき観察をしたい部分にゼリーかクリームを塗ります。これは、患者さまの皮膚面と超音波を出す装置(探触子プローブといいます)の間に、空気が入らないようにするためです。その後、診断したい部位に装置を当て超音波を発信します。当院では、腹部・心・頸部エコーが行われています。腹部エコーは肝臓・腎臓・胆嚢・膵臓・脾臓・前立腺などの病変の観察に使用され、心エコーは心筋梗塞などの心臓病の診断に使用されます。

患者さまに留意していただく点としては、診断する部分によって、絶食をしていただく場合や排尿を我慢していただく場合がありますという事です。また、体内のガス・空気によって診断の妨げになるような影が写る事があります。



東芝メディカルシステムズ(株)
最新超音波診断装置Nemio



検査の様子

当院では最新鋭の超音波診断装置で検査を施行しております。
一度スタッフまでお問い合わせください。